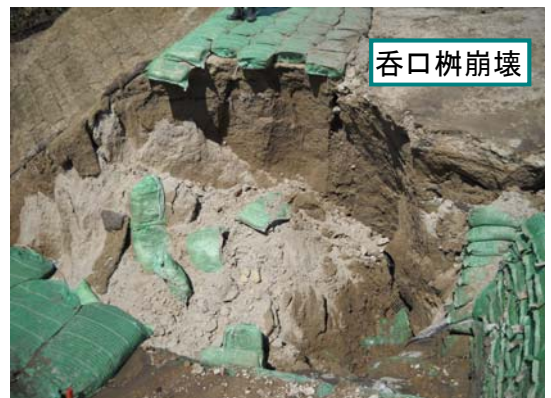
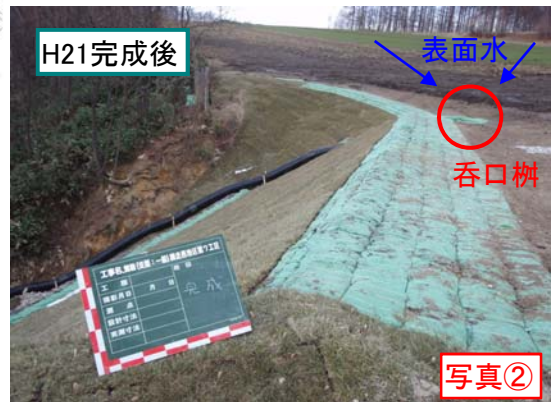
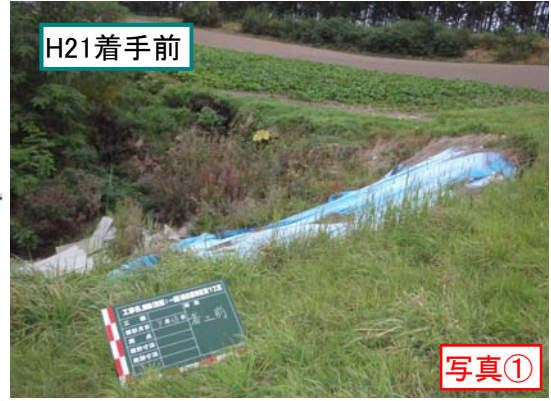
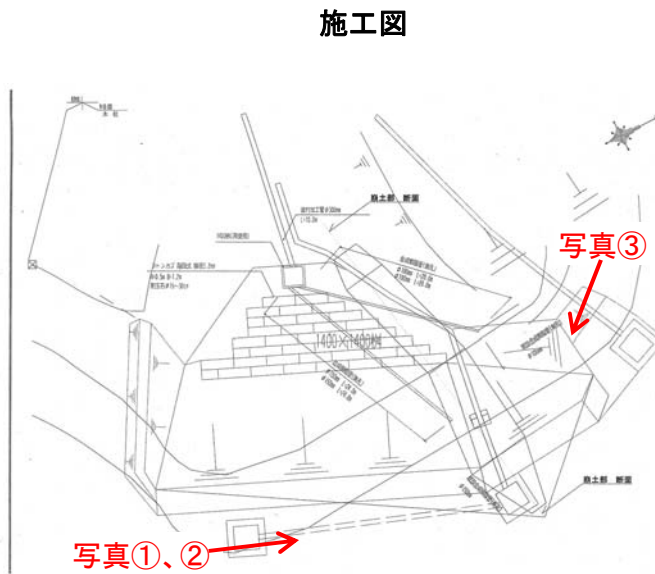


失敗事例シート

事業名	畑総（支援：一般）	施工年度	平成 21 年度
地区名	網走西	撮影年月	平成 22 年 4 月
区分	4-3 表面水処理	市町村名	網走市

表題 畑地表面水の流下による法面崩壊（1回目の対策）

写真図面等

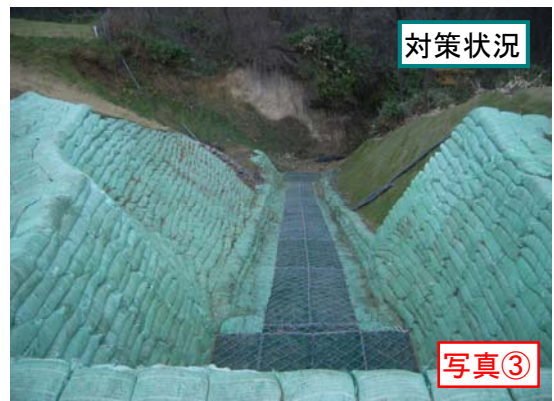
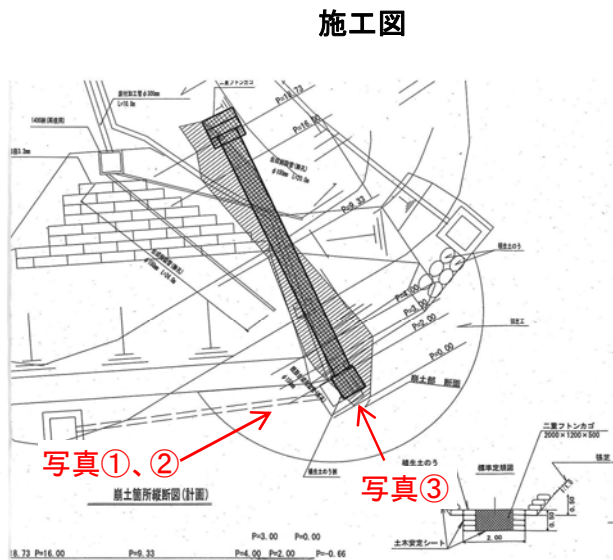


状況説明 (原因等)	<ul style="list-style-type: none"> 畑の表面水が一箇所に集中して流下していたことにより、法面が徐々に浸食されて法面崩壊が起こった。対策工として表面水排除のための呑口樹を植生土のうで設置し、崩壊した法面は盛土材（砂質土）による埋戻しを行った。法面は張芝、法肩は植生土のうにより保護した。 H22春の融雪後に現地確認を行ったところ、呑口樹及び樹付近の法面が崩壊していた。 原因は、呑口樹内の排水管が雪水で詰まる等して流れが悪くなったところに、大量の融雪水が流入したことにより樹がオーバーフローし、芝の活着が十分でなかった法面を流下したことにより、浸食され崩壊したものと想定される。
対策方法 (留意事項)	<ul style="list-style-type: none"> 呑口樹を設置する場合でも、表面を流下することを想定しておく必要がある。 盛土材は粘性土を手配する。 出来るだけ水を一箇所に集中させないことも検討する。 一度に融雪が起こらない様、除雪や融雪剤散布を行う等農家にも協力してもらう。

対策事例シート

事業名	畑総（支援：一般）	施工年度	平成 22 年度
地区名	網走西	撮影年月	平成 22 年 10 月
区分	4-3 表面水処理	市町村名	網走市
表題	畑地表面水の流下による法面崩壊（2回目の対策）		

写真図面等

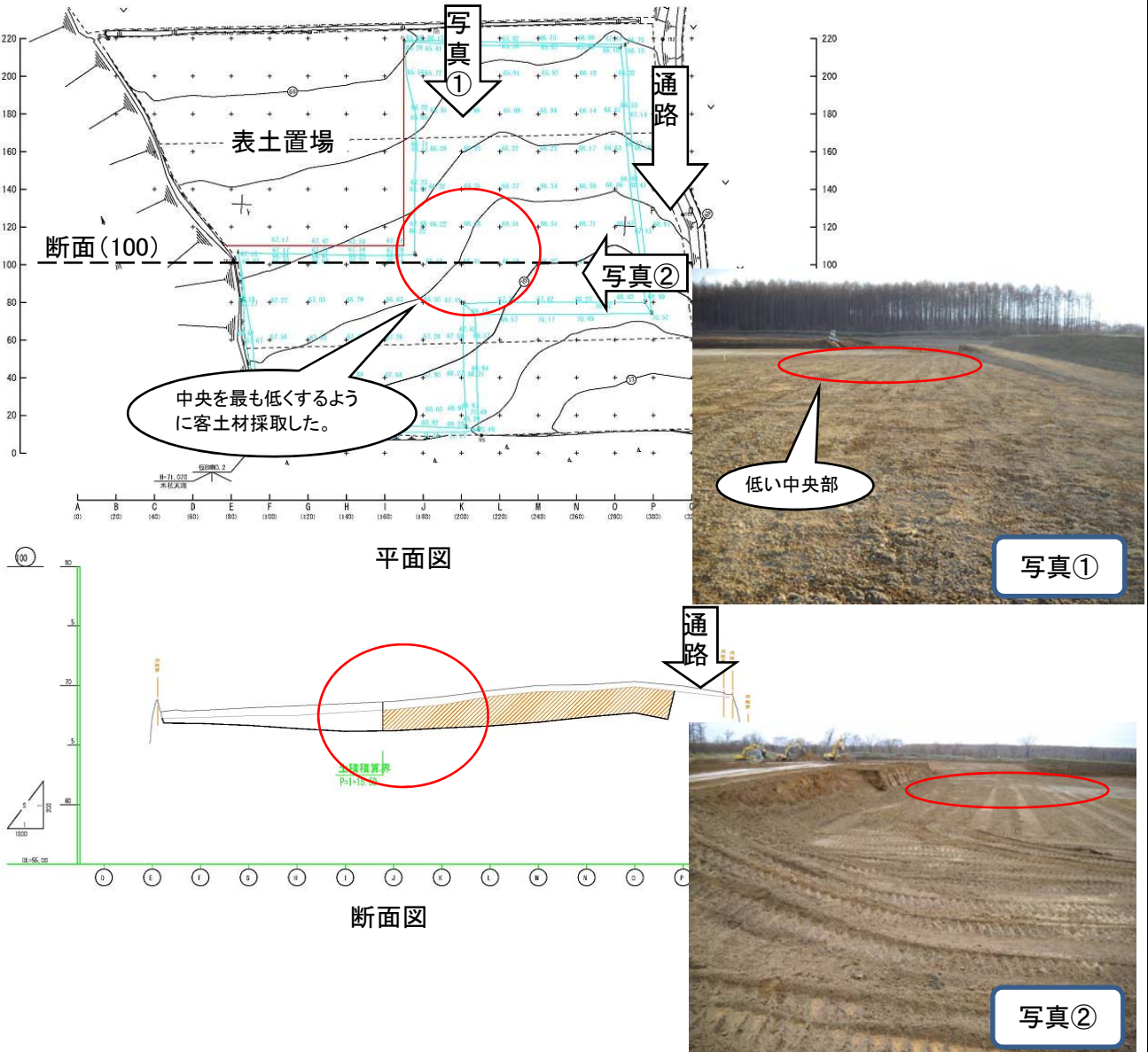


状況説明 (原因等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ H22春の融雪後に現地確認を行ったところ、H21に施工した呑口柵及び柵付近の法面が崩壊していた。原因は、呑口柵の排水管が雪氷で詰まる等して流れが悪くなったところに、大量の融雪水が流入したことにより柵がオーバーフローし、芝の活着が十分でなかった法面を流下したことにより、浸食され崩落したものと想定される。 ・ 網走南部東地区の事例を参考に、オーバーフローしても崩壊しないよう法面流路に二重ふんかごを用いたオープン水路とした。
対策方法 (留意事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 流入口付近はせり上げを設置し、表面水の流速を減勢する区間を設けた。 ・ せり上げに左右の勾配をつけて、表面水が分散するようにした。 ・ 水路の両側法面は、植生土のうで保護した。 ・ 盛土材は粘性土を使用した。 ・ 農家には、融雪剤の散布、春に見回りを行う等協力をお願いした。

対策事例シート

事業名	畑総（支援：一般）	施工年度	平成 22 年度
地区名	斜里美咲	撮影年月	平成 22 年 11 月
区分	4-3 表面水処理	市町村名	斜里町
表題	客土土取場における採土計画の工夫		

写真図面等



状況説明 (原因等)	現況が畑のほ場（4 ha）を土取場としている。表土はぎ後、基盤から客土材を搬出するが、降雨時に場外への土砂流出が懸念された。
対策方法 (留意事項)	・次年度以降も客土採取予定であるため、土取場自体を大きな沈砂池として考え、搬出路を下げずに土取場区域内に水がとどまるような採取計画として、区域外へ土砂流出しない対策を講じている。